



S ゴーさんと 2 ショットでご機嫌

吾妻山は日本 100 名山の一つであるので、S ゴーさんがいるかも知れないなあと考えていたら、いたいた、東京駅で声をかけられた、ラッキー。これで 61 座目であるという。デルバラおじさんの F ジタさんもいる。その他よく見かける顔が何人かいたが名前までは覚えていない。土日の設定であったので若い人も何人か加わっていた。ツアーリーダーは上野さんと宮崎さんで、根石岳の時と全く同じコンビ。現地ガイドは昨年の蔵王でも案内してくれた東北のガイド組合会長

と言われるダジャレの近藤さんである。相変わらず“サンチョウベリマッチ”だとか“前方に見えるのが会津バンザイ山です”などとオヤジギャグを連発していた。

初っぱなにリフトを 3 回も乗り換えてスキー場の一番上にまで行ってしまふので、さぞ寒かろうと覚悟をしていったのであるが、高曇りで無風という好条件であ



ったのでそれほど寒さを感じないで過ぎた。登り初めの標高がすでに 1820m であり、山頂が 2035m であるので、楽勝の予定であった。ガイドの近藤さんが、“雪山ですから自信のない人は後ろのほうが楽ですよ”と言ったので、近藤さんと上野さんに次いで 3 番手でスタートした。途中で息が切れてきてしまったので、後ろに回ろうとしたらスノーシューが外れてしまって、結局一番後ろになってしまった。ハズカシイ。このスノーモンスターは、



丈が低いのでリトルスノーモンスターというらしい。3 時間の歩程という触れ込みであったが、2 時間半程度で終わってしまった。雪山では、条件が良いときはこんなこともある。今年は例年に比べると、雪の量は 1/3 であるという。米沢市中ではほとんど見かけなかった。

